

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第68期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	萬世電機株式会社
【英訳名】	MANSEI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 占部 正浩
【本店の所在の場所】	大阪市福島区福島7丁目15番30号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 村山 憲司
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区福島7丁目15番30号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 村山 憲司
【縦覧に供する場所】	萬世電機株式会社神戸支店 （神戸市兵庫区高松町2番3号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期連結 累計期間	第68期 第2四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	9,908,747	9,964,850	20,655,052
経常利益(千円)	251,379	253,425	522,041
四半期(当期)純利益(千円)	105,993	198,145	257,863
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	78,797	180,190	407,013
純資産額(千円)	7,274,698	7,714,262	7,579,934
総資産額(千円)	14,957,321	13,944,017	15,644,041
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	23円11銭	43円20銭	56円22銭
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	48.6	55.3	48.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	114,907	346,941	16,991
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	759	150,648	2,531
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	27,714	38,132	43,593
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	2,265,326	2,125,615	2,356,449

回次	第67期 第2四半期連結 会計期間	第68期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24円59銭	28円66銭

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は139億44百万円（前連結会計年度末比17億00百万円減）となりました。これは主に現金及び預金が5億30百万円、受取手形及び売掛金が14億25百万円減少したことによるものです。

負債合計は62億29百万円（同比18億34百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が17億10百万円減少したことによるものです。

純資産合計は77億14百万円（同比1億34百万円増）となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が17百万円減少し、利益剰余金が1億52百万円増加したことによるものです。

(2) 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大幅な金融緩和・財政政策、米国経済の回復見込等により、円安や株価高が維持され輸出を中心に回復基調がみられたものの、中国や東南アジア新興国の経済成長が鈍化するなど実体経済は不安定な状況で推移しました。

当社グループの関連する業界につきましては、製造業の生産設備投資が依然低調であり厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓、取扱商材の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高99億64百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益2億46百万円（同比10.3%減）、経常利益2億53百万円（同比0.8%増）、四半期純利益1億98百万円（同比86.9%増）となりました。

また子会社日本原ソーラーエナジー(株)における太陽光発電事業につきましては、11月6日に安全祈願祭を実施、12月には工事着工、来年9月に工事完工し、同年10月より売電開始を予定しております。

各セグメントの状況は、次のとおりであります。

(電気機器・産業用システム)

電気機器・産業用システムにつきましては、電気設備や生産設備に対する設備投資が低調となり、全般的に減少しました。この結果、部門全体では売上高45億42百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

(電子デバイス・情報通信機器)

電子デバイスにつきましては、太陽光発電関連需要が堅調に推移し伸長しました。情報通信機器につきましては、アミューズメント向けに画像機器関連商品が伸長しました。この結果、部門全体では売上高38億39百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

(設備機器)

設備機器につきましては、住設機器は横這いとなりましたが、業務用空調機や冷凍機などの冷熱機器及び関連工事が減少しました。この結果、部門全体では売上高15億82百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は21億25百万円（前連結会計年度末比2億30百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は3億46百万円（前年同四半期は1億14百万円の使用）となりました。これは主に売上債権の減少により資金が14億27百万円増加し、仕入債務の減少により資金が17億2百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は1億50百万円（前年同四半期は0百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の償還により資金が1億50百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は38百万円（前年同四半期は27百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払により資金が45百万円減少したことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,600,000	4,600,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	4,600,000	4,600,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	4,600,000	-	1,005,000	-	838,560

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三菱電機株式会社	東京都千代田区丸の内2-7-3	1,000	21.74
日光産業株式会社	大阪市福島区福島7-15-2 萬世ビル内	533	11.59
萬世電機従業員持株会	大阪市福島区福島7-15-30	147	3.22
ソシエテ ジエネラル エヌ アールエイ エヌオーデイト イテイ (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	SOCIETE GENERALE 29 BOULEVARD HAUSSMANN PARIS - FRANCE (東京都中央区日本橋3-11-1)	146	3.17
株式会社サンセイテクノス	大阪市淀川区西三国1-1-1	120	2.61
竹田和平	名古屋市天白区	111	2.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	110	2.39
東洋電機製造株式会社	東京都中央区八重洲1-4-16	100	2.17
占部正浩	兵庫県西宮市	91	1.98
シティグループ証券株式会社	東京都千代田区丸の内1-5-1	81	1.76
計	-	2,440	53.05

(7) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 13,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,565,000	4,565	同上
単元未満株式	普通株式 22,000	-	同上
発行済株式総数	4,600,000	-	-
総株主の議決権	-	4,565	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
萬世電機株式会社	大阪市福島区福島7丁目15番30号	13,000	-	13,000	0.3
計	-	13,000	-	13,000	0.3

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,156,449	3,625,615
受取手形及び売掛金	8,726,514	7,300,544
商品	526,692	646,480
繰延税金資産	97,504	87,111
未収入金	561,818	536,962
その他	42,061	36,680
貸倒引当金	13,094	5,842
流動資産合計	14,097,947	12,227,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	130,000	125,089
土地	165,074	129,650
その他(純額)	12,855	58,217
有形固定資産合計	307,930	312,957
無形固定資産	29,276	24,391
投資その他の資産		
投資有価証券	1,087,771	999,476
繰延税金資産	55,371	12,887
その他	91,563	392,015
貸倒引当金	25,818	25,264
投資その他の資産合計	1,208,887	1,379,115
固定資産合計	1,546,093	1,716,464
資産合計	15,644,041	13,944,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,719,954	5,009,715
短期借入金	363,037	370,766
未払法人税等	137,786	111,698
賞与引当金	153,289	140,010
役員賞与引当金	25,000	11,500
その他	256,792	176,649
流動負債合計	7,655,860	5,820,341
固定負債		
退職給付引当金	144,286	138,081
役員退職慰労引当金	197,500	202,400
その他	66,460	68,932
固定負債合計	408,246	409,413
負債合計	8,064,107	6,229,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	5,589,989	5,742,273
自己株式	7,916	7,916
株主資本合計	7,425,633	7,577,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,691	147,022
為替換算調整勘定	10,390	10,677
その他の包括利益累計額合計	154,300	136,345
純資産合計	7,579,934	7,714,262
負債純資産合計	15,644,041	13,944,017

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	9,908,747	9,964,850
売上原価	8,589,756	8,685,484
売上総利益	1,318,991	1,279,366
販売費及び一般管理費	1,043,759	1,032,447
営業利益	275,232	246,919
営業外収益		
受取利息	2,754	9,268
受取配当金	4,723	4,733
為替差益	-	6,326
その他	3,861	3,257
営業外収益合計	11,339	23,586
営業外費用		
支払利息	1,728	1,994
売上割引	6,664	6,393
為替差損	2,468	-
投資事業組合運用損	23,389	7,079
その他	941	1,611
営業外費用合計	35,191	17,079
経常利益	251,379	253,425
特別利益		
固定資産売却益	-	5,747
投資有価証券償還益	-	59,911
特別利益合計	-	65,658
特別損失		
固定資産除却損	2	-
投資有価証券評価損	53,897	-
特別損失合計	53,899	-
税金等調整前四半期純利益	197,480	319,084
法人税、住民税及び事業税	84,419	108,604
法人税等調整額	7,068	12,334
法人税等合計	91,487	120,938
少数株主損益調整前四半期純利益	105,993	198,145
四半期純利益	105,993	198,145

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	105,993	198,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,021	17,668
為替換算調整勘定	2,174	286
その他の包括利益合計	27,195	17,955
四半期包括利益	78,797	180,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,797	180,190
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	197,480	319,084
減価償却費	12,452	11,908
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,300	4,900
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,704	6,205
役員賞与引当金の増減額(は減少)	13,000	13,500
賞与引当金の増減額(は減少)	15,004	13,278
受取利息及び受取配当金	7,478	14,002
支払利息	1,728	1,994
為替差損益(は益)	163	657
投資事業組合運用損益(は益)	23,389	7,079
投資有価証券評価損益(は益)	53,897	-
投資有価証券償還損益(は益)	-	59,911
売上債権の増減額(は増加)	547,658	1,427,875
たな卸資産の増減額(は増加)	76,307	119,194
仕入債務の増減額(は減少)	684,092	1,702,882
その他	43,159	69,878
小計	5,003	226,667
利息及び配当金の受取額	7,171	15,914
利息の支払額	1,573	1,799
法人税等の支払額	115,503	134,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,907	346,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,500,000	1,800,000
定期預金の払戻による収入	1,500,000	1,800,000
有形固定資産の取得による支出	1,617	50,925
有形固定資産の売却による収入	-	41,384
無形固定資産の取得による支出	1,400	600
投資有価証券の取得による支出	754	704
投資有価証券の償還による収入	-	150,000
投資事業組合からの分配による収入	2,550	15,000
その他	462	3,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	759	150,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	4,389	7,729
配当金の支払額	32,104	45,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,714	38,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,036	3,591
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	144,418	230,833
現金及び現金同等物の期首残高	2,409,745	2,356,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,265,326	2,125,615

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した日本原ソーラーエナジー株式会社を、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料	371,540千円	361,683千円
配送保管費	128,062	128,430
福利厚生費	105,133	106,311
退職給付費用	37,226	31,848
役員退職慰労引当金繰入額	6,300	5,800
賞与引当金繰入額	130,288	128,371
役員賞与引当金繰入額	11,000	11,500
貸倒引当金繰入額	4,242	7,811
減価償却費	12,452	11,908

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,765,326千円	3,625,615千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,500,000	1,500,000
現金及び現金同等物	2,265,326	2,125,615

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	32,104	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月8日 取締役会	普通株式	22,931	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	45,861	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月7日 取締役会	普通株式	36,689	8	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結損益計算書計上額
	電気機器・産業用システム	電子デバイス・情報通信機器	設備機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,894,980	2,947,295	2,066,471	9,908,747	-	9,908,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,894,980	2,947,295	2,066,471	9,908,747	-	9,908,747
セグメント利益(営業利益)	177,774	35,255	86,477	299,507	24,275	275,232

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結損益計算書計上額
	電気機器・産業用システム	電子デバイス・情報通信機器	設備機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,542,194	3,839,779	1,582,875	9,964,850	-	9,964,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,542,194	3,839,779	1,582,875	9,964,850	-	9,964,850
セグメント利益(営業利益)	134,306	105,756	39,364	279,427	32,508	246,919

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	23円11銭	43円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	105,993	198,145
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	105,993	198,145
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,586	4,586

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....36,689千円

(ロ) 1株当たりの金額.....8円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

萬世電機株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 辻内 章 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三宅 昇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている萬世電機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、萬世電機株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。